

平成11年度 相模原市立博物館 年報

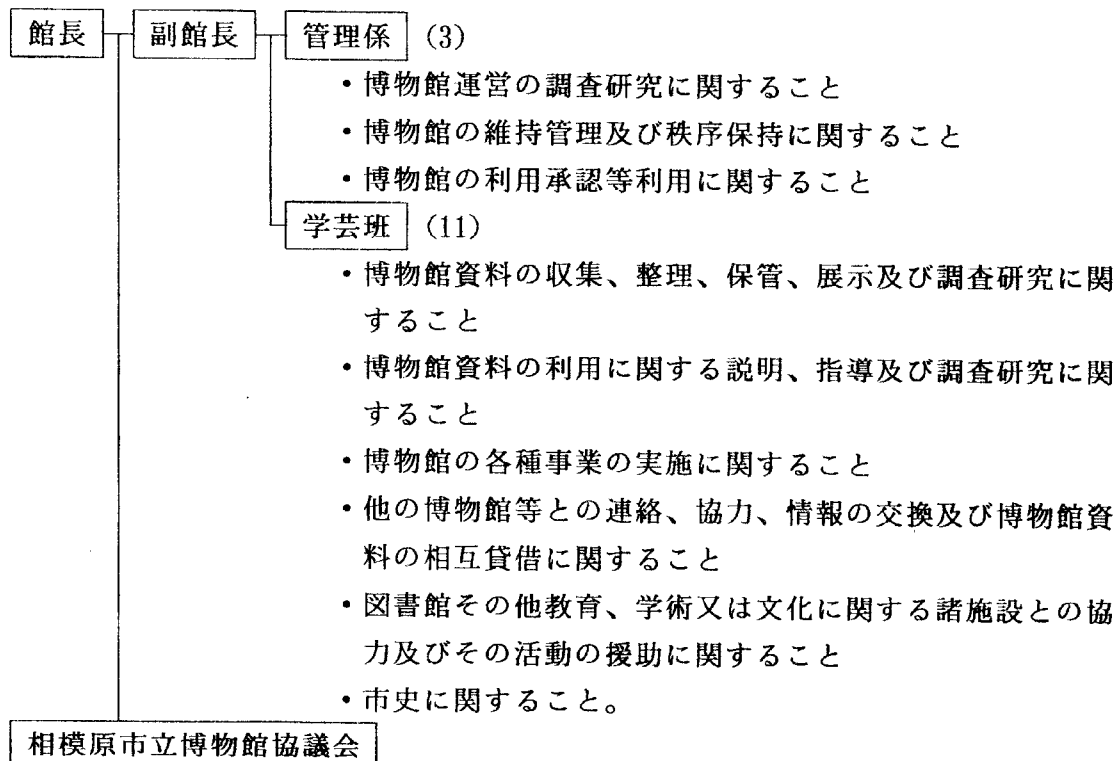


平成12年4月1日
相模原市立博物館

I 管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員(平成12年3月31日現在)

館長(非常勤)	神崎 彰利		
副館長	参事(兼)副館長	安立 武晴	
管理係	副主任(兼)管理係長	細谷 浩	
	主任	鉢村 敏雄	
	主事	志田久仁子	
学芸班	副主任(学芸員) (学芸班担当)	杉本 芳秋	(天文担当)
	主査(社会教育主事)	守屋 博文	(動物担当)
	主査(学芸員)	浜田 弘明	(地理担当)
	主査(学芸員)	加藤 隆志	(民俗担当)
	指導主事	福田 茂	(天文担当)
	主任(学芸員)	木村 衡	(考古担当)
	主任(学芸員)	笠原 正則	(天文担当)

主 事	福田 豊	(情報担当)
主 事 (学芸員)	草薙 由美	(歴史担当)
主 事 (学芸員)	金井 憲一	(地質担当)
学芸員補	秋山 幸也	(植物担当)

*なお、受付案内業務は(財)相模原市都市整備公社に委託し9名が配属され、プラネタリウム投影業務の一部は(株)東急コミュニティーに委託し4名が配属されている。

2 博物館協議会

(1) 委員 (平成11年11月20日現在)

氏 名	備 考
清水 克恵	市立若松小学校教諭
岡 信幸	市立清新中学校教諭
池田 高明	県立大沢高等学校教諭
平賀 友子	市社会教育委員
藤田巳智雄	市文化協会
香村 紘一	会長・市文化財研究協議会
廣田 郁香	市立小中学校PTA連絡協議会
長田かな子	地域史研究家
松島 義章	副会長・県立生命の星地球博物館嘱託
平林 久	文部省宇宙科学研究所教授

(2) 会議

開 催 日	お も な 内 容
第1回 平成11年5月26日(水)	平成10年度事業報告について 平成11年度予算及び事業予定について 諮問事項の検討、企画展見学ほか
第2回 平成11年9月21日(火)	答申案について 収蔵品展見学
第3回 平成11年12月3日(金)	会長及び副会長の選出 博物館協議会のこれまでの活動について 今後の協議内容について
第4回 平成12年2月17日(木)	博物館活動の現状について 答申に係る博物館の考え方について 企画展見学ほか

3 施 設

(1) 施設概要

- ・敷地面積 9,999.48㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- ・規模 地下1階・地上3階建て
- ・建築面積 5,081.03㎡
- ・延床面積 9,510.24㎡

(2) 施設管理

- ・施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。
- ・消防訓練 5月11日(火・臨時休館日)、10月19日(火・臨時休館日)、1月26日(水)

4 予 算

平成11年度予算

(単位: 千円)

款項目	科目名	本年度予算額	前年度予算額	比 較	財源内訳
502040	博物館費	355,916	880,713	-524,797	特定財源 15,824 (特財内訳) その他 15,824 一般財源 340,092

節		説 明		
区 分	金 額			
1報酬	4,054	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
8報償費	11,009	経費内訳	11年度	10年度
9旅費	1,159	1 博物館協議会経費	480	449
11需要費	92,364	2 施設運営費	146,026	132,160
12役務費	1,009	(1) 資料収集保存経費	17,292	6,811
13委託料	206,691	(2) 資料調査研究経費	5,214	5,932
14使用料及び賃借料	38,077	(3) 展示・教育普及事業経費	28,079	23,425
18備品購入費	1,436	(4) プラネタリウム事業経費	90,890	91,365
19負担金、補助及び 交付金	90	(5) その他運営費	4,551	4,627
27公課費	27	3 施設維持管理費	202,970	210,016
		4 施設維持補修費	5,000	5,000
		5 博物館用地購入事業 (債務負担行為)	-	532,500
		6 一般事務費	1,440	588
		合 計	355,916	880,713

Ⅱ 教育普及

1 入館者数

(1) 平成11年4月1日～平成12年3月31日

総計 115,031人

(2) 各月ごとの詳細は、次のとおり。

平成12年3月31日現在

相模原市立博物館入館者統計

月	入館者総数	プラネ総数	一般投影計	全天周映画	学習投影計	特別展総数	星空観望会	講座講演会	プラネ観覧料	開館日	1日平均
11年4月	6,860	2,675	1,223	1,452	-	401	64	-	924,360	25	274
5月	11,044	5,552	1,954	3,050	548	6,284	51	85	1,788,220	25	442
6月	10,192	3,785	1,171	1,711	903	2,843	32	200	1,049,580	26	392
7月	12,807	5,445	2,257	2,193	995	2,195	60	1,577	1,497,020	26	465
8月	15,815	8,366	5,052	3,314	-	5,823	-	755	2,884,980	26	608
9月	7,930	3,832	1,904	1,644	284	1,926	-	347	1,263,600	20	397
10月	9,989	4,291	1,498	2,468	325	2,838	64	364	1,401,720	26	384
11月	11,595	6,857	1,182	2,149	3,526	2,911	134	556	1,097,340	23	504
12月	5,991	2,593	696	890	1,007	1,487	65	242	531,000	22	272
12年1月	7,309	3,300	1,232	1,710	358	2,507	74	287	995,400	24	305
2月	7,950	3,401	1,183	1,481	737	4,143	59	478	939,300	25	318
3月	7,549	3,563	1,407	1,589	567	3,312	62	364	953,200	27	280
11年度計	115,031	53,860	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	15,325,720	295	390
総計	532,124	238,338	101,635	90,712	45,991	148,718	4,175	16,933	69,667,140	1,301	

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	18,055	8,646	28,388	1,104	3,167	12,233,880	300	351
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	551	4,489	12,820,900	299	356

2 特別展・企画展・収蔵品展

(1) 企画展「都市化の中の暮らし」

- ①内 容 家電製品などを通して昭和30年代からの暮らしの移り変わりを展示。
- ②期 間 平成11年4月29日(木・祝)～6月13日(日)
- ③観覧料 無料
- ④入場者 9,528人
- ⑤出版物 ポスター(B2) 500枚、チラシ(A3縦)10,000枚
- ⑥講演会 5月16日(日)、テーマ「家電製品から見た戦後の暮らし」、参加者23人
講師：青山 芳之氏(順天堂大学教授)

(2) 特別展「水生昆虫の世界」

- ①内 容 標本や水槽を使ってゲンゴロウ等の水生昆虫及び水辺の環境を展示。
- ②期 間 平成11年7月17日(土)～8月31日(火)
- ③観覧料 大人 300円・中学生以下無料
- ④入場者 8,018人(うち有料大人 2,647人)
- ⑤出版物 図録 1,000部、ポスター(B2) 500枚、チラシ(A4縦)10,000枚
- ⑥関連事業 7月25日(日)、フライイング(毛バリ製作)実演会、参加者50人
講師：宮下 力氏(東京都立秋川高校教諭、水生昆虫談話会会員)
8月8日(日)、鑑賞会「おもしろ水生昆虫学」、参加者70人
講師：石綿 進一氏(神奈川県環境科学センター)
金田 彰二氏(日本工学院専門学校)
岸 一弘氏(茅ヶ崎市文化資料館)
野崎 隆夫氏(神奈川県環境科学センター)

(3) 収蔵品展「相模原の農機具」

- ①内 容 脱穀・調製用具に焦点を当てて、かつての農村の一端を紹介。
- ②期 間 平成11年9月18日(土)～10月17日(日)
- ③観覧料 無料
- ④入場者 4,686人
- ⑤出版物 ポスター(A2) 500枚

(4) 特別展「描かれた農耕の世界」

- ①内 容 県内及びその周辺域にある四季耕作図や養蚕図・農具図等を展示。
- ②期 間 平成11年10月30日(土)～11月28日(日)
- ③観覧料 大人 300円・小中学生 100円
- ④入場者 2,989人(うち有料大人 655人・小人70人)
- ⑤出版物 図録 1,000部、ポスター(B2) 500枚、チラシ(A3縦)10,000部
- ⑥講演会 11月3日(木・祝)、テーマ「四季耕作図から見えるもの」、参加者50人
講師：河野 通明氏(神奈川大学教授)
11月14日(日)、テーマ「農民文化と農耕図」、参加者35人
講師：佐藤 常雄(筑波大学教授)

(5) 収蔵品展「縄文土器がいっぱい」

- ①内 容 遺跡発掘調査の成果を公開し、土器の形や縄文時代のくらしを紹介。
- ②期 間 平成11年12月11日(土)～平成12年1月16日(日)
- ③観覧料 無料
- ④入場者 3,531人
- ⑤出版物 ポスター(A2) 500枚
- ⑥講演会 12月18日(土)、テーマ「縄文人の土木技術」、参加者75人
講師：山田 昌久氏(東京都立大学助教授)
1月10日(月・祝)、テーマ「よみがえる文化財」、参加者115人
講師：村田 忠繁氏((財)元興寺文化財研究所)

(6) 企画展「星空探訪」

- ①内 容 星空に親しむことをテーマに古星図や隕石などを展示。
- ②期 間 平成12年1月29日(土)～3月26日(日)
- ③観覧料 無料
- ④入場者 7,916人
- ⑤出版物 ポスター(B2) 500枚、チラシ(A4両面)10,000枚
- ⑥講演会 2月4日(金)、スターウォッチング、参加者28人
2月20日(日)、テーマ「スターウォッチングに出かけよう」参加者49人
講師：国司 真氏((財)天文博物館五島プラネタリウム解説員)
2月20日(日)、星に親しむ集い、参加者33人
講師：国司 真氏((財)天文博物館五島プラネタリウム解説員)

3 講座・観望会・その他の事業

I 講座

(1) 地質学講座

- ①内 容 岩石・鉱物学の基礎知識や地域の大地の生い立ちを学ぶ。
- ②実施日 平成11年5月8日(土)から平成11年9月25日(土)まで全10回
- ③参加人数 延べ 264人

(2) 歴史教養講座

- ①内 容 歴史研究の魅力や変わりゆく社会や時代背景などを解説。
- ②実施日 平成11年6月6日(日)から平成12年3月5日(日)まで全10回
- ③参加人数 延べ 1,149人

(3) 民俗講座・フィールドワーク「村を歩く」

- ①内 容 昨年度の実施に引き続き、実際に歩いて地域の歴史や文化を学ぶ。
- ②実施日 平成11年6月27日(日)から平成12年3月5日(日)まで全8回
- ③参加人数 延べ 234人

(4) 天文学入門講座「火星を調べる」

- ①内 容 天文観測の技術を学び火星の動きを記録化する。
- ②実施日 平成11年7月30日(金) から10月16日(土) まで全11回
- ③参加人数 延べ 211人

(5) セミのぬけがら調査

- ①内 容 市域におけるセミの生息状況をぬけがらを使って調べ考察する。
- ②実施日 平成11年7月11日(日) から9月19日(日) まで全4回
- ③参加人数 延べ62人

(6) 考古学講座

- ①内 容 「道具と社会の関係」をテーマに講義と実習。
- ②実施日 平成11年7月20日(火・祝) から平成12年3月19日(日) まで全9回
- ③参加人数 延べ 194人

(7) 古文書解読講座「初めて読む古文書」

- ①内 容 残された古文書から地域の歴史を掘り起こす。
- ②実施日 平成11年8月29日(日) から10月24日(日) まで全5回
- ③参加人数 延べ 147人

(8) 地理講座「フィールド調査入門Ⅰ～街を歩く～」

- ①内 容 「街」をテーマに実際に歩きながら地図の読み方等を学ぶ。
- ②実施日 平成11年10月17日(日) から12月12日(日) まで全5回
- ③参加人数 延べ 128人

(9) 植物学講座「たねからわかる植物の生活」

- ①内 容 種子採集を行い、生育場所や種子散布の仕組みについて学ぶ。
- ②実施日 平成11年11月3日(水・祝) から11月28日(日) まで全5回
- ③参加人数 延べ 122人

Ⅱ 観望会

(1) 星空観望会

- ①内 容 季節に応じた天体の観測により天文知識の普及を図る。
- ②実施日 平成11年4月9日から平成12年3月24日まで毎週金曜日(全22回)
※雨天・曇天時等中止
- ③参加人数 延べ 665人

(2) 月食観望会

- ①内 容 天体現象に広く親しみ一層の興味を深めるための観望会。
- ②実施日 11年7月28日(水)
- ③参加人数 311人

(3) しし座流星群オリエンテーション

- ①内 容 この天体現象に広く親しみ一層の興味を深めるための説明会。
- ②実施日 11年11月13日(土)
- ③参加人数 130人

Ⅲ その他の事業

(1) 糸取り・機織り実演会

- ①内 容 糸取り・機織りの方法を見学するとともに実際に体験する。
- ②実施日 平成11年7月18日(日)、20日(火・祝)
- ③参加人数 延べ 700人

(2) 夏休み子ども学習相談

- ①内 容 小・中学生を対象に夏の自由研究等のアドバイスをする。
- ②実施日 平成10年7月20日(火・祝) から8月31日(火) まで
- ③参加人数 延べ40人

(3) 夏休み親子天文教室

- ①内 容 親子で望遠鏡を手作りし、実際に月などを観察する。
- ②実施日 平成11年7月24(土)・25(日)、8月21(土)・22(日)
- ③参加人数 延べ 350人

(4) 酒まんじゅう作り教室

- ①内 容 地域の伝統食である、酒まんじゅうの作り方について学ぶ。
- ②実施日 平成11年8月21日(土)、22日(日)
- ③参加人数 延べ64人

(5) 夏休み親子石器作り教室

- ①内 容 小学5・6年生を対象に原始時代の「切る道具」を作る。
- ②実施日 平成11年8月22日(日)
- ③参加人数 32人

(6) 自然観察会「水辺の生き物を探そう」

- ①内 容 相模川の水辺を歩きながら、生き物、植物、小石などを観察。
- ②実施日 平成11年8月22日(日)
- ③参加人数 24人

(7) 自然観察会「秋の神沢河原を探検しよう」

- ①内 容 相模川の神沢河原で冬支度を進める動物、植物を観察。
- ②実施日 平成11年10月17日(日)
- ③参加人数 11人

(8) 自然観察会「身近な生物の冬の暮らしを観察しよう」

- ①内 容 公園や沈殿池でカモや身近な生き物を観察。
- ②実施日 平成12年1月23日(日)
- ③参加人数 14人

(9) 民俗学講演会「道祖神とその信仰」

- ①内 容 「道祖神」の歴史と性格及び神奈川県のだんご神信仰について。
- ②実施日 平成12年2月27日(日)
- ③参加人数 200人

(10) 野外地層観察会

①内 容 大島から田名にかけて露頭などを観察し、地史を探る。

②実施日 平成12年3月5日(日)

③参加人数 延べ30人

(11) ネイチャーゲーム入門教室

①内 容 自然を素材とした「ネイチャーゲーム」の基礎を学ぶ。

②実施日 平成12年3月12日(日)、19日(日)

③参加人数 25人

(12) 考古学講演会「古代相模の仏教と民衆」

①内 容 遺跡からみた古代仏教と民衆、相模の古代寺院と仏教者について。

②実施日 平成12年3月18日(土)

③参加人数 200人

(13) 自然観察会「段丘崖の生き物を観察しよう」

①内 容 早春の段丘崖の林の中を歩きながら生き物を観察。

②実施日 平成12年3月26日(日)

③参加人数 28人

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 11年度観覧者合計53,660人

※投影内容別は以下記。月別の観覧者については4ページ参照。

(2) 一般投影

ア 内 容 解説員による季節の星空説明と企画番組で構成(所要約50分)

番 組 名	投 影 期 間
はるかなる月をめざして	(平成11年3月13日(土)) ～ 6月13日(日)
しあわせ大作戦	平成11年6月19日(土) ～ 9月5日(日)
水の消えた惑星	平成11年9月11日(土) ～ 12月5日(日)
スペースコロニーへ	平成11年12月11日(土) ～ 12年3月12日(日)
すばる望遠鏡	平成12年3月18日(土) ～ (6月18日(日))

イ 投影時間 平日…午後3時50分

土・日・祝日・小中学校長期休み等…午後1時30分と3時50分

ウ 観覧者 20,759人

(3) 全天周映画

ア 内 容 大型フィルム使用の映画作品を上映(所要約50分)

番 組 名	上 映 期 間
コズミック・ボヤージュ	(平成10年10月24日(土)) ～ 11年4月18日(日)
エベレスト	平成11年4月21日(水) ～ 11年10月17日(日)
エジプト	平成11年10月23日(土) ～ (平成12年4月16日(日))

イ 上映時間 平日…午後2時40分

土・日・祝日・小中学校長期休み等…午前10時50分と午後2時40分

ウ 観覧者 23,651人

(4) 学習投影

ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

作品 小学校6年生向け「星の動きと月の影」

小学校4年生向け「太陽系のなかまたち」

幼児向け「うちゅうの七にんきょうだい」

イ 投影時間 事前に利用団体と調整し、主に平日午前中に投影

ウ 観覧者 9,250人

(5) プラネタリウム夜間投影

小中学校の春休み・夏休み期間の毎週金曜日に限り、午後6時からプラネタリウムを投影した。投影回数9回、観覧者計60人。

(6) 出版物

プラネタリウム案内A5パンフレット、B2ポスター…各投影番組別に作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

ビデオライブラリーの作品年間視聴本数 計1,746本

(2) 収蔵資料の「ミニ展示」

特別展・企画展の開催期間外に、特別展示室前で資料の展示を行った。

化石の魅力-博物館に寄贈された化石-、ひつつきむしのカタチ、セミのぬけがら調査

6 学校と博物館の連携を進める研究会

学校教育での幅広い学習活動のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図るための連携のあり方を研究・協議した。

(1) 委員（平成11年度）

氏 名	備 考
小川 久治	委員長・旭中学校教諭
岡田 武	副委員長・鹿島台小学校教諭
吉田 彰宏	大野台中学校教諭
川上 孝生	大野北中学校教諭
鹿戸 陽子	大野台中央小学校教諭
梶岡 寿江	上溝小学校教諭
塚原 健	大沢小学校教諭
堀江 春雄	磯野台小学校教諭

(2) 会議

開催日	主な内容
第1回 平成11年6月18日(金)	博物館を利用した学習について
第2回 平成11年10月7日(木)	学習プランの検討
第3回 平成12年2月22日(火)	平成12年度の学校利用について

7 広報・出版

(1) 刊行物

- ア 特別展パンフレット・ポスター …各4種(前掲)
- イ 収蔵品展のポスター …各2種(前掲)
- ウ プラネタリウム及び全天周映画案内パンフレット・ポスター …計6種(前掲)
- エ 博物館NEWS (Vol. 15～Vol. 18)
- オ 特別展図録
「水生昆虫の世界～水の中の小さな虫たち～」 「描かれた農耕の世界」
- カ 報告書等
「研究報告第9集」 「地図資料目録Ⅱ・一般図・主題図・地形図」

(2) 有償刊行物一覧(平成12年3月末現在)

有償刊行物については、博物館と市役所情報公開室で販売。

◎特別展・企画展図録

書名	発行年月	販売価格
郷土の巨匠・岩橋英遠展	7・11	1,000
江南の至宝	8・2	1,300
相模原の昆虫―身近にいる小さな昆虫たち―	8・4	350
日本の宇宙開発	8・11	1,000
段丘崖の植物―斜面緑地はいま―	9・4	200
絵図から地形図へ―近代地形図の誕生と発展―	9・7	2,550
太陽系―母なる太陽とその家族を巡る―	9・11	700
相模原が海だったころ	10・7	800
浮世絵名品展	10・9	1,800
水生昆虫の世界―水の中の小さな虫たち―	11・7	1,200
描かれた農耕の世界	11・9	1,500

◎調査報告書等

書名	発行年月	販売価格
研究報告第7集1998	10・3	800
研究報告第8集1999	11・3	600
研究報告第9集2000	12・3	550
資料集 順席（慶応三年）	10・3	800
古山の生業と伝承	10・3	600
大島地区の自然と文化	11・3	900
相模原市作成の地図	11・3	1,000
一般図・主題図・地形図	12・3	1,200

◎展示解説書

書名	発行年月	販売価格
相模原市立博物館・常設展示解説書	9・1	1,000

（3）他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館へ掲示を行った。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、その他新聞・雑誌、他博物館等へ記事・ポスターを提供した。

ウ 放送番組ロケ

博物館を紹介する、テレビ・ラジオ番組の取材に応じた。

主な番組内容 TVK…建築への旅鑑～かながわコレクション～

8 博物館実務実習

学芸員資格習得のための実習として、8月に19名を受け入れた。分野は考古・歴史・民俗・地理・地質・動物・植物・天文、期間は2週間とした。

9 博物館職員の講師派遣

市内各公民館・小中学校で実施される学級・講座等について、各施設の依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。

Ⅲ 資料管理

1 12年3月31日現在の資料点数は、以下のとおり。

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	レプリカ	考古資料収蔵庫等	3	点	4,203
	土器・石器片等	考古資料収蔵庫	121	点	
	橋本遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	846	箱	
	橋本遺跡復元土器	考古資料収蔵庫	190	点	
	古淵B遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	40	箱	
	中村遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	98	箱	
	田名塩田遺跡群出土土器	考古資料収蔵庫	425	箱	
	当麻下溝遺跡群出土土器	考古資料収蔵庫	1,865	箱	
	矢掛久保遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	95	箱	
	矢掛久保遺跡復元土器	考古資料収蔵庫	80	点	
	下九沢下作ノ口遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	20	箱	
	淵野辺山王平遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	300	箱	
	下溝上谷開戸遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	120	箱	
歴史	教科書等	古文書収蔵庫	4,362	点	30,942
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	4,747	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	93	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫	12,015	点	17,917
	軍事資料	大型資料収蔵庫	520	点	
地質	地図・写真資料	図面保管庫	5,382	点	1,363
	化石資料	地質資料収蔵庫等	164	点	
地質	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	349	点	15,476
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	186	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	268	点	
	参考資料	地質資料収蔵庫	73	点	
	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	15,324	点	
動物	小動物等	液浸標本収蔵庫	99	点	12,571
	鳥類	動植物資料収蔵庫	9	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	4	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	12,571	点	2,040
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,040	点	26,380
二次資料	図書・報告書等(詳細は別途)	市民研究室等	23,135	点	110,892
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,245	点	
合計			110,892	点	

館内収蔵美術品(生涯学習課)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	377	点	438
	彫刻	美術品収蔵庫	6	点	
	書	美術品収蔵庫	55	点	

二次資料(図書・報告書等)点数リスト

市民研究室			
考古		4,821	点
歴史		5,023	点
民俗		1,584	点
地理		1,477	点
地質		944	点
動物		801	点
植物		296	点
芸術		646	点
博物館		3,145	点
計		18,737	点

天文研究室			
天文		395	点
計		395	点

情報コーナー			
図書		3,838	点
ビデオテープ		165	点
計		4,003	点

合計		23,135	点
----	--	--------	---

2 資料収集・保存

分野	内 容
考古資料	収蔵資料台帳の作成とその検索システムに関する準備作業の実施
歴史資料	新規収集資料を含む、未整理資料の整理
民俗資料	市域の農具等資料の収集、未整理資料のカード作成。
地理資料	市域の生活資料の収集・整理 収集地形図・主題図の目録化。新聞資料の合本
動物資料	収集資料及び収蔵予定資料（寄贈予定資料）の整理
植物資料	植物標本の作成と整理
地質資料	岩石・化石資料の収集。寄贈資料（火山灰）の整理・データ化
天文資料	星雲・星団・太陽画像の撮影 パソコン通信による、国立天文台等からの画像収集
情報資料	他博物館等より送付されたパンフレット等の閲覧用への整理

3 11年度購入資料

資料名	内 容
天文資料	鉄質隕石1点
学術雑誌	考古学ジャーナル・月刊むし・天文月報等の専門雑誌25種 (主に市民研究室で開架)
新刊書籍及びビデオソフト	市民研究室・情報サービスコーナーへの配架用として、新刊書を中心とした書籍70冊、ビデオ16本を購入した。

4 燻蒸の実施

全館燻蒸を9月に実施し、さらに受入れ資料の燻蒸を7月及び1月に実施した。

IV 調査研究

調査分野 及び調査者	内 容
考古資料の調査 木村 衡	博物館開館以後発掘された資料の調査。 奈良三彩陶器小壺の出土遺跡一覧の作成。
歴史資料の調査 草薙 由美	市域近世村落を中心とした古文書等歴史資料の調査。 12年度特別展に関する資料調査。田名江成家墓地調査。
民俗資料の調査 加藤 隆志	耕作図及び農具図等資料調査。 講中所蔵の諸記録に関する調査。

地理資料の調査 浜田 弘明	生活資料の分類及び収集、展示に関する調査。相模大野駅周辺景観調査。平成期相模原周辺土地利用調査。
動物資料の調査 守屋 博文	相模川水系水生昆虫生息調査…生息状況把握と二次資料化。 昆虫生息調査…田名地域の昆虫類の生息状況を明らかにした。
植物資料の調査 秋山 幸也	市内における高等植物の分布状況の調査。 収集済資料の再整理の実施。
地質資料の調査 金井 憲一	相模川流域の露頭調査と写真撮影及び岩石・化石調査の実施。
天文資料の調査 杉本 芳秋 福田 茂 笠原 正則	わし座〇〇星の光電測光観測。 しし座流星群の出現状況の調査。 新たなプラネタリウム学習番組の作成と液晶ビデオプロジェクターを使った投影の試み。

相模原市立博物館

発行：平成12年4月1日

住所：〒229-0021相模原市高根3-1-15

TEL:042-750-8030 FAX:042-750-8061